

安曇野市土地利用審議会 会議概要

1 審議会名	第148回 安曇野市土地利用審議会
2 日 時	令和7年4月25日（金） 午後1時27分から午後2時20分まで
3 会 場	安曇野市役所
4 出席委員	7名中7名（委員名簿非公開）
5 市側出席者	【都市計画課】山田課長、黒岩係長、佐藤主査 【建築住宅課】新保課長、宮川係長
6 公開・非公開の別	非公開
7 非公開の理由	安曇野市附属機関等の設置及び運営に関する指針（平成27年安曇野市告示第334号）第7条第3号に該当するため
8 会議概要作成年月日	令和7年4月30日

1 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 委員紹介・事務局自己紹介
- (3) 会長選出・会長あいさつ
- (4) 職務代理者指名
- (5) 事務局あいさつ
- (6) 報告事項
- (7) 意見聴取
- (8) そ の 他
- (9) 閉 会

2 議事概要

【1】報告事項

- 第147回土地利用審議会議事録について
→誤り等のないことを確認した。

■条例の運用状況等について

- 区域ごとの総面積はわかるか。田園環境区域が多いということであるが、全体面積に対して開発された面積の割合を出すことで、開発が抑制できているかがわかるのではないかと思う。土地利用条例の効果がより分かりやすくなると考える。検討いただきたい。
→開発を積極的に誘導する拠点市街区域の面積は約900ヘクタール、それに対して農地保全を方針とする田園環境区域の面積は約11,000ヘクタールとなっており、約10倍の差がある。このため、単純な開発面積の比較では田園環境区域の開発面積が多くなる状況にあるが、区域ごとの全体面積に対する開発面積は、田園環境区域よりも、拠点市街区域のほうが大きい状況にある。

【2】意見聴取

■意見聴取（1）豊科地域特定開発 第6-30号

《資料説明（事務局）》

- 対象土地に隣接する筆が取り残される形となる部分について、何か計画や将来の取り扱いにおける留意点などはあるのか。
→事前相談の段階では、現状の計画としては対象地と一体的な開発は行わないと認識している。

- 対象地の隣接地について田としての利用における給水・排水に影響はないということにより

か。

→田として利用可能だと認識している。

○開発対象地に建物があるように見える。

→農業用倉庫だと思われるが、除却をする予定である。

○現状は、農地として利用しているのか。

→ そうである。

(その他意見なし)

【3】その他

■次回審議会日程

以上